

【2024年度 企画運営委員会 事業報告】

委員長校	【2024年4月～5月】副委員長校(委員長校 代理):甲南大学 関西国際大学、関西学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、神戸親和大学、 神戸常盤大学、兵庫県立大学
副委員長校	
委員校 (全11校)	【2024年6月～2025年3月】委員長校:関西学院大学 副委員長校:神戸学院大学 関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、 芸術文化観光専門職大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
取組1	リカレント教育の普及促進に向けた取組
達成目標	各年参加者数 50名以上
活動指標	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)
取組2	加盟校のリカレント教育に関する情報発信
達成目標	各年10校以上
活動指標	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)
課題	課題⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
取組1	大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築
達成目標	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充
活動指標	大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)
取組2	緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築
達成目標	緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築
活動指標	大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)
課題	課題⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備
取組1	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進
達成目標	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築
活動指標	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)

目的
大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3.県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」と柱「4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築」に向けて、以下の取組課題3点について、取り組む。

予算額	課題⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進		
	取組1・2	リカレント教育の普及促進に向けた取組 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	500,000円 (受託事業収入)
	課題⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成		
	取組1・2	大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	450,000円
	課題⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備		
	取組1	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	1,050,000円

期待される効果
【取組課題⑧】「県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」 近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。
【取組課題⑨】大学資源を活用する地域プラットフォームの形成 定期的に加盟校の情報を収集することで、地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充、並びに、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築ができる。
【取組課題⑩】県内大学が活性化する事業運営体制の整備 事業運営体制が整備されることで、同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進など、加盟校のニーズと実態に合わせた事業運営を実現できるようになる。 加盟校が協働して大学間連携事業に取り組むことで、県内大学の活性化につながる。

【2024年度 企画運営委員会 事業報告(⑧取組1・2)】

課題⑧	県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
達成目標	【取組1】各年参加者数 50名以上 【取組2】各年10校以上
課題を解決する取組概要	近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。
活動指標	【取組1】大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上) 【取組2】大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)

計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
兵庫県委託事業「令和6年リカレント教育推進事業」 委託期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日 受託・運営する業務内容は以下の通り(予定) 【取組1】リカレント教育促進に向けた機運醸成のための取組 (1)リカレント教育先進大学等による講演 県内大学の教職員や企業の担当者を対象にリカレント教育の理解促進を図るための講演を実施する。 開催時期:2024年8月～2025年3月予定(1回) (2)リカレント教育に関する県内大学、企業との意見交換会 企業のリカレント教育に関するニーズを把握するため、大学の教職員と企業担当者との意見交換会を実施する。 開催時期:2024年8月～2025年3月予定(1回) 【取組2】企業、受講希望者に対する情報発信 県内大学のリカレント講座のPR 県民や企業人事担当者を対象に県内大学のリカレント教育を紹介する。	兵庫県委託事業「令和6年リカレント教育推進事業」 委託期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日 <活動内容> 【取組1】リカレント教育促進に向けた機運醸成のための取組 【名称】リカレントフォーラム 「進化する大学のリカレント教育」 【日時】2025年3月5日(水)予定 【会場】オンライン 【取組2】企業、受講希望者に対する情報発信 大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページ上に、「リカレントフェア 社会人が大学で学べるプログラム2024」を開設し、県内大学のリカレント講座のPRを実施した。 【掲載数】28校45講座 <自己評価> 兵庫県との連携のもと、当初計画通り、本事業を活動指標と達成目標を到達を見込める形で、進めることができていた。今年度で5年目を迎えた節目で、加盟校によるリカレント教育の多様性を示すフォーラムを実施する。兵庫県からも、引き続き、産官学で連携するリカレント教育推進に関するネットワーク醸成を期待されていることから、本取組は継続すべきと考える。	兵庫県委託事業「令和6年リカレント教育推進事業」 委託期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日 <活動内容> 【取組1】リカレント教育促進に向けた機運醸成のための取組 【名称】リカレントフォーラム 「進化する大学のリカレント教育」 【日時】2025年3月5日(水)13:00～16:00 【会場】オンライン 【参加者】127名 【内容・登壇者】以下の通り (第1部)話題提供「大学によるリカレント教育の展開」 ・神戸大学 大学院保健学研究科 准教授 前重 伯壮氏 ・甲南大学リカレント教育センター 所長 梅本 剛正氏 ・兵庫県立大学 社会価値創造機構 教授 柴野 伸之氏 (第2部)意見交換会「進化する大学のリカレント教育の過去・現在・未来」 ・第1部の話題提供者3名と各校のプログラム履修生・連携先(下記3名)が意見交換を行った。 ・TMES(株) DX統括部データサイエンス室 梅津 哲郎氏 ・甲南大学 卒業生 三宅 隆宏氏 ・(株)SUエコシステム 代表取締役CEO 上田 澄廣氏(ファシリテーター)兵庫県 生涯福祉学部 教授・附属総合科学研究所長 田端 和彦氏 【取組2】企業、受講希望者に対する情報発信 大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページ上に、「リカレントフェア 社会人が大学で学べるプログラム2024」を開設し、県内大学のリカレント講座のPRを実施した。 【掲載数】28校45講座 <報告> 兵庫県との連携のもと、【取組1】【取組2】ともに、当初計画通り、活動指標および達成目標をいずれも達成した。 【取組1】では、加盟校からの話題提供により、リカレント教育の多様性を示すことができた。また、各校のリカレントプログラム履修生(企業派遣者や母校卒業生)や学内ベンチャー企業が登壇し、大学ならではのリカレント教育の可能性と効果について関連な意見交換ができた。 【取組2】では、加盟校の要望に応じて、通年で情報掲出することで、リカレント教育推進の機運の醸成を図った。次年度も、兵庫県より産官学で連携するリカレント教育推進とネットワーク醸成を期待されていることから、一定の成果があったといえる。
達成目標に対する実績	－ (実施前)	【取組1】127名、【取組2】28校
活動指標に対する実績	取組1・取組2において、大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回)を開催予定	取組1・取組2において、大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回)を開催した
自己評価基準:対到達目標 ※	3	－
自己評価基準:対継続性 ※	4	－

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
500,000円	313,173円	186,827円	500,000円	0円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
兵庫県からも県内大学におけるリカレント教育の取組促進、機運の醸成がコンソに対して期待される中で、本取組を継続できていることは評価できる。引き続き、先進事例や課題を共有し、加盟校が連携してリカレント教育の普及に寄与いただきたい。				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 企画運営委員会 事業報告(⑨取組1・2)】

課題⑨	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	
達成目標	【取組1】大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 【取組2】緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築	
課題を解決する取組概要	(1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 (2)緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	
活動指標	【取組1】大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上) 【取組2】大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 兵庫県下における大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制について意見交換を行う。加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。 今年度も引き続き、以下において定期的に意見交換を行う。 ・企画運営委員会での懇談 ・産官学連携協議会での懇談 ・兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換 ・賛助会員企業・団体との懇親 ・「企業課題解決プログラム」の実施 ・「第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」の開催(2025年度)準備 【取組2】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築 感染症(新型コロナウイルス感染症等)や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、リスクに関する情報交換会を開催し、具体的な運用について議論する。	【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 <活動内容> ・企画運営委員会での懇談(8回) 開催実績:①4月10日、②5月14日、③6月21日、④7月29日、⑤8月29日、⑥9月27日、⑦10月25日、⑧11月25日 ・ひょうご産官学連携協議会の開催(1回) 開催実績:10月24日 ・兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換 ①7月16日 共同IR「学生生活に関する意識調査報告書」について意見交換 ②12月上旬に各事業委員会の活動について意見交換予定 ・賛助会員企業・団体との懇親(1回) 2024年12月9日開催予定(参加予定:44社75名、20校40名、11自治体15名、4団体6名)*今年度は兵庫県下41市町にも声かけ ・企業課題解決プログラム (2023年度から継続)企業6社7課題 / 5校が取り組み (2024年度新規取組)企業6社6課題 / 4校が取り組み ・「第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」の開催(2025年度)準備 企画運営委員会のワーキンググループでの検討 開催実績:①6月21日、②7月29日、③8月29日、④9月7・8日(第21回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(京都)参加)、⑤9月27日、⑥10月25日、⑦11月25日 <自己評価> 毎月1回定期的に開催した企画運営委員会及びひょうご産官学連携協議会において、加盟校・自治体・産業界と意見交換を行い、相互の連携を深めた。また、2023年から継続している「企業課題解決プログラム」により、学生の実践的な学びと地元企業への興味喚起、交流を促進した。 【取組2】不測の事態に備えて、リスクに関する情報交換会を開催し、具体的な運用について議論する。 <活動内容> ・リスクに関する情報交換会(防災茶話会) 開催実績:10月28日 9大学10名が参加。兵庫県危機管理部防災支援伝承普及班の吉田哲也主幹による講話とグループワークを実施した。 <自己評価> 加盟校の危機管理担当職員が他大学の職員、兵庫県、大学コンソーシアムひょうご神戸事務局と連絡先を共有することで、連携体制を強化した。また次年度からは、全加盟校との共有をはかれるような仕組みの構築を予定。	【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 <活動内容> ●企画運営委員会での懇談(12回) 開催実績:①4月10日、②5月14日、③6月21日、④7月29日、⑤8月29日、⑥9月27日、⑦10月25日、⑧11月25日⑨12月24日、⑩1月23日(メール審議)、⑪2月28日、⑫3月11日(メール審議) ●ひょうご産官学連携協議会の開催(3回) 開催実績:①9月10日(メール審議)、②10月24日、③3月21日 ●兵庫県・兵庫県中小企業家同友会・兵庫県商工会連合会・兵庫県中小企業団体中央会との意見交換 開催実績: ①7月16日 共同IR「学生生活に関する意識調査報告書」について意見交換 ②12月11日 各事業委員会の活動について意見交換 ●賛助会員企業・団体との懇親(1回) 開催実績:12月9日(44社74名、20校40名、10自治体15名、3団体5名が参加) ●企業課題解決プログラム 企業9社12課題 / 8校が取り組み ●「第22回全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム」の開催(2025年度)準備 企画運営委員会のワーキンググループでの検討 開催実績:①6月21日、②7月29日、③8月29日、④9月7・8日(第21回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(京都)参加)、⑤9月27日、⑥10月25日、⑦11月25日、⑧12月24日、⑨2月28日 【取組2】不測の事態に備えて、リスクに関する情報交換会を開催し、具体的な運用について議論する。 <活動内容> ●リスクに関する情報交換会(防災茶話会) 開催実績:10月28日(9大学10名が参加) <報告> 本年度は賛助会員企業9社増、また尼崎市・姫路市・国際機関と協定締結など、大学・自治体・企業・地域団体との連携がさらに強化され、学びの場や情報共有の機会が増加したことにより、達成目標・活動指標ともに達成した。 今後は、これまで築いたネットワークに加え、自治体との連携においても多くの関係者が積極的に参画できるような仕組みづくりを進め、継続的な連携の強化を図ることが重要である。 特に、企業や自治体と大学が協働して地域の課題解決に取り組む体制の強化、リスク管理に関する包括的なネットワークの構築など、次年度以降のさらなる発展に向け、全国コンソの場も活用しながら取り組みを進めていく必要がある。
達成目標に対する実績	【取組1】各種会議等において大学・地方自治体・企業・地域団体との連携を拡充した 【取組2】加盟校の危機管理担当職員のネットワークを構築した	【取組1】各種会議等において大学・地方自治体・企業・地域団体との連携を拡充した 【取組2】加盟校の危機管理担当職員のネットワークを構築した
活動指標に対する実績	【取組1】大学・企業関係者による意見交換会年10回開催 【取組2】大学・企業関係者による意見交換会年1回開催	【取組1】大学・企業関係者による意見交換会年12回開催 【取組2】大学・企業関係者による意見交換会年1回開催
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
450,000円	0円(※10月末現在)	450,000円(※10月末現在)	351,603円	98,397円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				

企画運営委員会及び、ひょうご産官学連携協議会等での懇談については、次年度以降も定期的に実施し、産官学の連携体制の強化について、意見交換の場を設けていただきたい。次年度開催の全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに向けては、加盟校自身がコンソ活動への理解を深め、所属意識を高めながら、コンソ活動ならびに加盟校活動を他エリアのコンソ・大学に周知できる場をつくり出すことに期待している。また緊急時リスクマネジメント体制の構築については、定期的な見直し・改善を行い、より実践的な関係性構築に向け検討を重ねていただきたい。

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 企画運営委員会 事業報告(⑩取組1)】

課題⑩	県内大学が活性化する事業運営体制の整備	
達成目標	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築	
課題を解決する 取組概要	加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。 同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。	
活動指標	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
加盟校がコンソーシアム活動に積極的に参画できる事業運営体制と仕組みについて、2022年度に、①本コンソの目指す姿の策定、②各事業委員会の委員長校・副委員長校の決定方法(選択的輪番制)、③事業委員会の運営に関する申し合わせ(改定案)の策定を行った。 2023年度は、加盟校にアンケートを実施し、コンソの強みや価値を整理し、大学間連携・産官学連携における3つの期待(①PR・プロモーション②学内業務の効率化③外部資金の調達について)を整理し、各事業委員会に指針として提示した。引き続き3つの期待について継続的に検討をすすめるとともに、以下について実施する。 ●事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実を図る。 ・HP:加盟校専用ページ 各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期のロードマップの共有化 ・HP:トップページ 加盟校の公開講座等のイベント情報を随時更新 ・note 事業委員会活動の実施報告、加盟校学生の地域活性化に関わる取組広報 ・SNS(Facebook・X・Instagram) 事業委員会活動の案内 ・メルマガ配信 加盟校教職員に月1回情報発信 ●企画運営委員会(原則、月1回開催) なお、小グループでの課題の共有、プロジェクト型での事業推進についても加盟校等からのニーズがあれば、企画運営委員会において検討し、対応する。	<活動内容> ●事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実を図る ・HP 「加盟校専用ページ」 各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期のロードマップを公開し、加盟校で共有化 「NEWS&TOPICS イベントリスト」 27件掲載 「加盟校からのお知らせ」 47件掲載 「加盟校で働く教職員の方へ」のウェブページを新設し、各大学の教職員募集情報を一元化 ・note 取組広報の記事 30件掲載 ・SNS(Facebook・X・Instagram) 事業委員会活動の案内を随時更新し、情報発信 ・メルマガ配信 月1で加盟校教職員に向けて情報発信 ●企画運営委員会を月1回定期的に開催し、大学コンソの事業活性化、安定的な運営体制構築について議論を行った。 ・加盟校学生へのアンケート「学生生活に関する意識調査」(約1500件回答) 学生の興味関心を測り、加盟校が結果を共有し、自学の教育改革や教育改善に生かすため、加盟校の学生を対象にアンケートを実施。アンケート結果より、学生生活の課題やコンソの認知度に関連する課題が明らかになった。また、本年度実施の学生アンケートと昨年度実施の教職員アンケートを比較・分析し、学生と教職員の間でコンソ事業への認識や関心について相違があることを確認。 ・ワーキンググループの設置 企画運営委員が自分ごととしてコンソ事業を捉え、加盟校の様々な意見や知見を活かしながら、今後の事業の発展と安定した運営体制構築のために3つのワーキンググループを設置。2025年兵庫県開催の全国コンソ検討WG、コンソ事業の安定化に向けた会員・会費制度の検討WG、リスクマネジメント・リカレント検討WGにおいて各テーマを検討。各WGの課題は委員全体で共有し、共同で課題解決に向けて議論を深め、解決案を検討した。 <自己評価> 加盟校が協力して課題解決にあたる体制構築は確実に前進しており、本取組は運営体制の強化と活性化の観点から重要であり、継続すべきと考えている。	<活動内容> ●事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実を図る HPの充実 ・「加盟校で働く教職員の方へ」ウェブページを新設し、各大学の教職員募集情報を一元化 ・「加盟校専用ページ」(各事業委員会活動、中長期計画Ⅱ期のロードマップ公開等)、「NEWS&TOPICS イベントリスト」、「加盟校からのお知らせ」を随時更新 広報活動の強化 ・noteへの取組広報の記事掲載、SNS(Facebook・X・Instagram)を活用した事業委員会活動案内 ・月1回のメルマガ配信により、加盟校教職員へ情報発信 ●企画運営委員会の定期的(月1回)な開催 ・加盟校がコンソーシアム活動に積極的に参画できるよう、事業運営体制の整備と推進、タイプ3PF型申請に向け各設問での取り組みについて等、協議を行った。 ・今年度のIRアンケートは「学生生活に関する意識調査」を実施し、その結果を加盟校と共有、学生生活やコンソ認知度の課題が明らかになった。また、昨年度の教職員アンケートと比較・分析し、学生と教職員の間でコンソ事業への認識や関心に相違があることも確認できた。 ・ワーキンググループの設置 ①2025年兵庫県開催の全国コンソ検討 ②コンソ事業の安定化に向けた会員・会費制度の検討 ③リスクマネジメント・リカレント検討WGごとに各テーマについて検討し、それぞれの課題を委員全体でも共有、共同での課題解決に向けた議論を実施した。 <報告> 昨年度の教職員アンケート結果を受け、学内業務効率化を目指した教職員募集情報のコンソHPへの一元化を実施。また、HPやSNS、メルマガによる情報発信を継続して行い、加盟校間の情報共有を推進した。さらに、加盟校の多様な意見と知見を活かし、事業発展と安定的な運営体制構築を目的として3つのWGを設置、課題解決策を検討し、今後の事業の発展に向けた具体的な取り組みを進めた。 加盟校学生対象の「学生生活に関する意識調査」では、昨年度の教職員アンケート結果と比較分析することでコンソ事業の認知度や課題を可視化した。 これらの取り組みにより、加盟校の協力体制が強化され、コンソ事業の活性化と持続可能な運営体制の基盤が着実に整いつつあることから、達成目標・活動指標ともに達成したと考える。
達成目標に対する実績	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制を構築した	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制を構築した
活動指標に対する実績	企画運営委員会等における懇談の実施(年7回実施)	企画運営委員会等における懇談の実施(年12回実施)
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
1,050,000円	242,220円(※10月末現在)	807,780円(※10月末現在)	954,860円	95,140円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
事務局運営の効率化・プロセスの可視化・情報管理や共有に関しては、継続的な評価と改善を行い、最適な効率化を図る必要があるため、継続して取り組んでいただきたい。アンケート等で導き出された課題(コンソの認知度や関心)については適宜、企画運営委員会や各事業委員会等で協議しながら、各取り組みがよりよいものになるよう活かしていただきたい。 また各ワーキングでの課題(全国コンソ、会費、リスクマネジメント・リカレント)について、導き出された解決策を具体的に運用することで、次年度以降のさらなる事業活性化・安定的な運営体制の構築を図っていただきたい。				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 企画運営委員会 事業決算】

(単位:円)

		予算額	決算額	各プログラム 予算									委員会 予算	
				⑧			⑨			⑩				
				県内大学を活用した 社会人の学び直しの推進			大学資源を活用する 地域プラットフォームの形成			県内大学が活性化する 事業運営体制の整備				
				内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額
収入	会費収入	1,500,000	1,500,000					450,000	450,000		1,050,000	1,050,000		
	助成事業収入	0	0											
	受託事業収入	500,000	500,000	兵庫県受託事業	500,000	500,000								
	プログラム収入	0	0											
	雑収入	0	0											
	戻入金	0	0											
	計	2,000,000	2,000,000	500,000			450,000			1,050,000			0	
支出	会議費	200,000	332,003				懇親会オードブル・ドリンク等	200,000	332,003					
	旅費交通費	122,000	43,370	交通費	72,000	42,430	企業課題解決プログラム交通費	50,000	940					
	通信運搬費	50,000	113,320	通信費等	50,000	113,320								
	消耗品費	20,000	37,448	文具等	20,000	36,788	消耗品	0	660					
	新聞図書費	1,800	0	参考図書	1,800	0								
	印刷製本費	800,000	80,559	名刺印刷	0	3,629				パンフレット等	800,000	76,930		
	光熱水料費	0	0											
	賃借料	170,000	0	会場費等	20,000	0	懇親会会場費・音響・スクリーン等	150,000	0					
	保険料	0	0											
	謝金	230,000	122,000	謝金	180,000	104,000	リスクマネジメント謝金	50,000	18,000					
	租税公課	200	200	収入印紙	200	200								
	支払手数料	6,000	2,800	振込手数料	6,000	1,870				振込手数料	0	930		
	諸会費	0	0											
	委託費	250,000	877,000							HPTトップページ改定	250,000	877,000		
	人件費	150,000	197,763	人件費	150,000	197,763								
	接待交際費	0	0											
	支払支援金	0	0											
	雑費	0	0											
	計	2,000,000	1,806,463	500,000			351,603			954,860			0	

収入－支出	193,537
-------	---------